


評価対象年度	平成24年度	施策評価シート	政策	8	施策	23
施策名	23 生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興		施策担当 部局	環境生活部, 教育庁		
「宮城の将来ビジョン」における体系	政策名	8 生涯現役で安心して暮らせる社会の構築	評価担当 部局 (作成担当 課室)	教育庁 (生涯学習課)		

施策の目的 (目標とする宮城の姿)	<p>○ 意欲や興味に応じて学んだり交流したりすることができる環境づくりが進んでおり、多彩な生涯学習活動やその成果が個人の生きがいや地域づくりなどに生かされている。</p> <p>○ 県民の運動実施率が向上し、地域のだれもが年齢・関心・技術に応じてスポーツに親しんでいる。競技スポーツでは、全国や世界で活躍する選手を輩出している。</p> <p>○ 郷土の伝統的な文化芸術が県民の共通財産として保存・継承や活用がなされるとともに、子どものころから一人ひとりの創造性をはぐくむ環境づくりが進み、県民が文化芸術を通して地域づくりや様々な交流を行っている。</p>	
施策の方向 (「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」の行動方針)	<p>◇ 生涯学習社会の環境づくりに向けた取組を充実させ、学習機関や文化芸術等多様な分野における関係団体とのネットワーク化などにより県民の自主的な学習活動を支援する。</p> <p>◇ みやぎ県民大学の実施などにより、社会の要請する学習機会の確保に向けた取組や、地域の多様な生涯学習活動を支援する指導者等の育成を図る。</p> <p>◇ 総合型地域スポーツクラブの育成・支援など、生涯スポーツ社会の実現に向けた環境づくりを推進する。</p> <p>◇ 競技スポーツにおいて、指導者育成対策の拡充や、競技力向上に向けた環境の充実を図る。</p> <p>◇ 県民が文化芸術に触れる機会を充実するなど、文化芸術活動の振興を図る。</p> <p>◇ 地域文化の継承・振興に向けた取組を支援し、文化財の保存・活用を推進する。</p> <p>◇ 県民の文化芸術活動を生かした地域づくりや交流を推進する。</p> <p>◇ 宮城県図書館・美術館・東北歴史博物館等の拠点の充実と関係機関とのネットワーク構築に取り組む。</p>	

決算(見込)額 (千円)	年度	平成23年度 (決算額)	平成24年度 (決算(見込)額)	平成25年度 (決算(見込)額)
	県事業費	1,811,954	1,724,202	-

※決算(見込)額は「宮城の将来ビジョン推進事業」と「取組に関連する宮城県震災復興推進事業」の合計額(再掲分含む)

目標指標等	■達成度 A:「目標値を達成している」(達成率 100%以上) B:「目標値を達成しておらず、達成率が80%以上100%未満」 C:「目標値を達成しておらず、達成率が80%未満」 N:「実績値が把握できない等の理由で、判定できない」																													
	■達成率(%) フロー型: 実績値/目標値 ストック型: (実績値-初期値)/(目標値-初期値)																													
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>初期値 (指標測定年度)</th> <th>目標値 (指標測定年度)</th> <th>実績値 (指標測定年度)</th> <th>達成度 達成率</th> <th>計画期間目標値 (指標測定年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 公立図書館等における県民一人当たりの図書資料貸出数(冊)</td> <td>3.89冊 (平成20年度)</td> <td>4.05冊 (平成23年度)</td> <td>3.01冊 (平成23年度)</td> <td>C 74.3%</td> <td>4.10冊 (平成25年度)</td> </tr> <tr> <td>2-1 総合型地域スポーツクラブの設置数(クラブ)</td> <td>27クラブ (平成20年度)</td> <td>35クラブ (平成24年度)</td> <td>41クラブ (平成24年度)</td> <td>A 117.1%</td> <td>35クラブ以上 (平成25年度)</td> </tr> <tr> <td>2-2 総合型地域スポーツクラブの市町村における育成率(%)</td> <td>42.9% (平成20年度)</td> <td>100.0% (平成24年度)</td> <td>60.0% (平成24年度)</td> <td>C 29.9%</td> <td>100% (平成25年度)</td> </tr> <tr> <td>3 みやぎ県民文化創造の祭典参加者数(うち出品者・出演者等の数)(千人)</td> <td>1,036千人 (23千人) (平成20年度)</td> <td>1,027千人 (34千人) (平成24年度)</td> <td>1,030千人 (44千人) (平成24年度)</td> <td>A 100.3%</td> <td>1,047千人 (35千人) (平成25年度)</td> </tr> </tbody> </table>		初期値 (指標測定年度)	目標値 (指標測定年度)	実績値 (指標測定年度)	達成度 達成率	計画期間目標値 (指標測定年度)	1 公立図書館等における県民一人当たりの図書資料貸出数(冊)	3.89冊 (平成20年度)	4.05冊 (平成23年度)	3.01冊 (平成23年度)	C 74.3%	4.10冊 (平成25年度)	2-1 総合型地域スポーツクラブの設置数(クラブ)	27クラブ (平成20年度)	35クラブ (平成24年度)	41クラブ (平成24年度)	A 117.1%	35クラブ以上 (平成25年度)	2-2 総合型地域スポーツクラブの市町村における育成率(%)	42.9% (平成20年度)	100.0% (平成24年度)	60.0% (平成24年度)	C 29.9%	100% (平成25年度)	3 みやぎ県民文化創造の祭典参加者数(うち出品者・出演者等の数)(千人)	1,036千人 (23千人) (平成20年度)	1,027千人 (34千人) (平成24年度)	1,030千人 (44千人) (平成24年度)	A 100.3%
	初期値 (指標測定年度)	目標値 (指標測定年度)	実績値 (指標測定年度)	達成度 達成率	計画期間目標値 (指標測定年度)																									
1 公立図書館等における県民一人当たりの図書資料貸出数(冊)	3.89冊 (平成20年度)	4.05冊 (平成23年度)	3.01冊 (平成23年度)	C 74.3%	4.10冊 (平成25年度)																									
2-1 総合型地域スポーツクラブの設置数(クラブ)	27クラブ (平成20年度)	35クラブ (平成24年度)	41クラブ (平成24年度)	A 117.1%	35クラブ以上 (平成25年度)																									
2-2 総合型地域スポーツクラブの市町村における育成率(%)	42.9% (平成20年度)	100.0% (平成24年度)	60.0% (平成24年度)	C 29.9%	100% (平成25年度)																									
3 みやぎ県民文化創造の祭典参加者数(うち出品者・出演者等の数)(千人)	1,036千人 (23千人) (平成20年度)	1,027千人 (34千人) (平成24年度)	1,030千人 (44千人) (平成24年度)	A 100.3%	1,047千人 (35千人) (平成25年度)																									

■ 施策評価（原案）		やや遅れている
評価の理由		
目標指標等	<ul style="list-style-type: none"> ・「公立図書館等における県民一人当たりの図書資料貸出数」については、東日本大震災の影響により、多くの図書館等が被災し休館を余儀なくされたことから、達成率が74.3%となり、達成度を「C」と評価した。 ・「総合型地域スポーツクラブの設置数及び市町村における育成率」については、「設置数」が7クラブ増加し41クラブとなり達成率が117.1%で達成度が「A」、「育成率」は5市町で設置され35市町村中21市町となり達成率が29.9%で達成度を「C」と評価した。 ・「みやぎ県民文化創造の祭典参加者数」については、概ね計画通り実施できたことから、達成率が100.3%となり、達成度を「A」と評価した。 	
県民意識	<ul style="list-style-type: none"> ・類似する取組である震災復興の政策6施策3「生涯学習・文化・スポーツ活動の充実」の調査結果を参照すると、高重視群57.8%、満足群が34.5%と低く、満足度の「わからない」は45.5%と比較的高い値である。また平成23年県民意識調査においても、それぞれ52.2%、35.0%、44.0%と同様な傾向が見られる。 ・施策「生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興」については、県民にあまり認知されていないと考えられる。 	
社会経済情勢	<ul style="list-style-type: none"> ・震災からの復興に向けて、地域におけるまちづくりや生涯学習活動を推進する人材の育成が求められている。 ・震災後の心のよりどころとして、多様な学習機会の提供や文化芸術・スポーツに親しめる環境整備が求められている。 ・震災後、地域コミュニティが喪失または希薄化しており、被災者が孤立しやすい環境にあることや、震災によるストレス障害や生活環境の変化等により、被災者のメンタルヘルスが悪化している。 	
事業の成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習社会の環境づくりに向けた芸術文化・スポーツ振興事業については、一定の成果が出ており、概ね順調に推移していると考えられる。 ・また、社会教育施設の復旧など災害復旧関連事業についても、一定の成果が出ており、概ね順調に推移していると考えられる。 ・宮城県図書館では、被災した市町村図書館や公民館図書室へ復旧・復興に向け、被災により失われた郷土資料の整備を行うなど、被災地の読書環境の復旧を支援している。 ・平成24年度からみやぎ県民大学において、地域コミュニティ再生に向け活躍できる人材の育成を目的に、「地域力向上講座」を開催した。 ・しかし、目標指標である「図書貸出冊数」や「地域型スポーツクラブの育成率」については、目標値を下回っている。 <p>・以上により、施策の目的である「生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興」はやや遅れていると判断する。</p>	

※ 評価の視点： 目標指標等、県民意識、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策に期待される成果を発現させることができたかという視点で、総合的に施策の成果を評価する。

施策を推進する上での課題と対応方針（原案）	
課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ・震災により、生涯学習を取り巻く環境が変化したことから、早急に学習環境の整備を図る必要がある。 ・震災の影響により、沿岸部だけでなく内陸部においても、仮設住宅入居者を含めた地域住民同士のコミュニケーションなどの重要性など地域力の向上が求められている。 ・総合型スポーツクラブを育成するために、行政や地域諸団体と連携し、地域住民がスポーツの必要性を認識する必要がある。 ・震災後の精神的な支えや地域コミュニティの再生の一手段として、引き続き文化芸術の振興等による心の復興を推進していくことが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県立図書館として、地域の公立図書館等を巡回訪問するなど必要な支援を把握・実施するとともに、被災図書館の早期復旧を支援することにより、県民の学習環境の充実を図る。 ・みやぎ県民大学等の各種講座などをとおして、生涯学習活動の支援者や地域を担う次代の担い手を育成するとともに、学習機会の提供や文化芸術の振興に努める。 ・みやぎ広域スポーツセンターに専任指導員を配置し、未設置市町村のクラブ設立に向けた助言や研修会等を実施し、支援していく。 ・引き続き、県民の心の復興に向け、学校や公共施設等にアーティストを派遣するなど、より多くの児童生徒や地域住民が身近に芸術文化に触れあえる機会を提供していく。

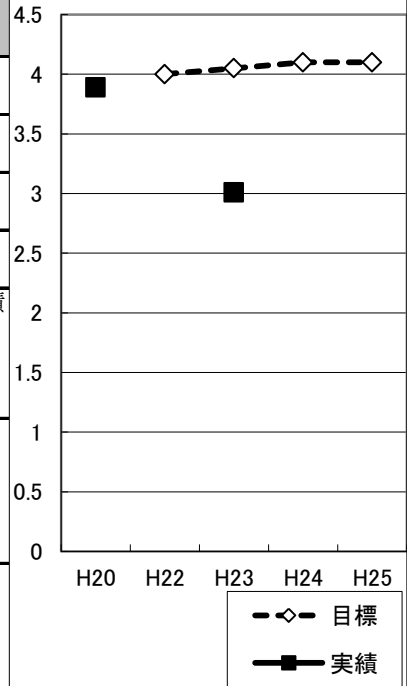
評価対象年度 平成24年度

政策 8 施策 23

目標指標等の状況

■達成率(%) フロー型:実績値/目標値 ストック型:(実績値-初期値)/(目標値-初期値)

1	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26
	公立図書館等における県民一人当たりの図書資料貸出数(冊)	指標測定年度	H20	H22	H23	H24	-
	[フロー型]	目標値	-	4.00	4.05	4.10	-
	県民1人が県図書館をはじめとする公立図書館等で一年間に借りた図書資料数	実績値	3.89	-	3.01	-	-
	達成率	-	-	74.3%	-	-	

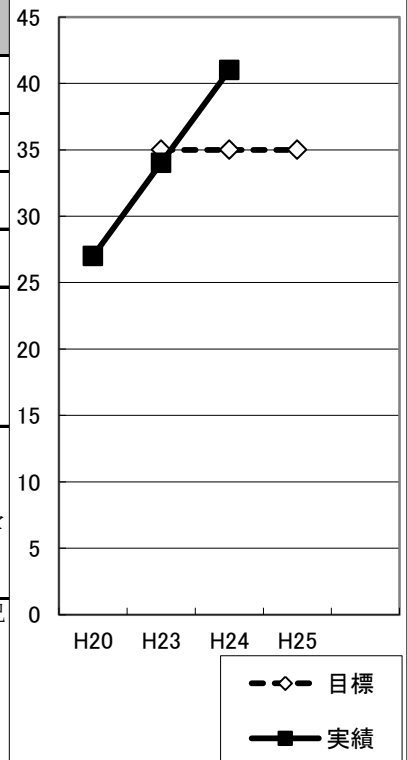


目標値の設定根拠
 ・近年の県民一人当たりの公立図書館等における図書資料貸出数に関する実績や傾向を踏まえた上で、各年度毎0.5冊の増加を見込み設定した。(評価対象年度H26の目標値は未設定。)

実績値の分析
 ・3月11日に発生した東日本大震災の影響により、県図書館では5月12日まで休館した。同様に県内公立図書館等においても、多くの図書館等が被災し休館を余儀なくされた。そのような状況から平成23年度実績値は、初期値を下回る結果となった。それら被災図書館等に対しては、当館でも支援を継続しているが、震災前の状況に戻るまでには、もうしばらく時間を要すると思われる。

全国平均値や近隣他県等との比較

2-1	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26
	総合型地域スポーツクラブの設置数(クラブ)	指標測定年度	H20	H23	H24	H25	-
	[フロー型]	目標値	-	35	35	35	-
	県内全域における設置クラブ総数(1市町村に複数のクラブがある場合もある)	実績値	27	34	41	-	-
	達成率	-	97.1%	117.1%	-	-	



目標値の設定根拠
 ・国のスポーツ振興基本計画においては、平成22年度までに全国の各市町村に少なくともひとつは総合型地域スポーツクラブを育成するとしている。同時に、将来的には中学校区程度の地域に定着させるとしている。これらを受け、宮城県スポーツ振興基本計画では、平成24年度までに県内全市町村に1か所以上の設置を目指すとしている。

実績値の分析
 ・総合型地域スポーツクラブは、平成21年度末までに15市町村に28クラブが設置され、平成22年度に3クラブ、平成23年度に3クラブが新設、平成24年度末には5クラブが新設(他2クラブの活動確認)され、現在、41クラブが活動を展開している。総合型地域スポーツクラブの設置・育成に関する支援は、みやぎ広域スポーツセンターにおいて行なっており、平成22年度から公益財団法人宮城県体育協会に業務の一部を委託し、着実に成果を挙げてきている。

全国平均値や近隣他県等との比較
 ・平成24年7月現在、全国における総合型地域スポーツクラブの市町村育成状況は、全国平均78.24%である。本県は35市町村中21市町村に留まり、その設置率は60.0%である。東北地区においては、秋田県の100%、山形県97.13%、岩手県の90.9%、福島県81.4%、と高位県が多い。しかし、他都道府県においては活動休止しているクラブもある中、本県においてはすべてのクラブが存続している。

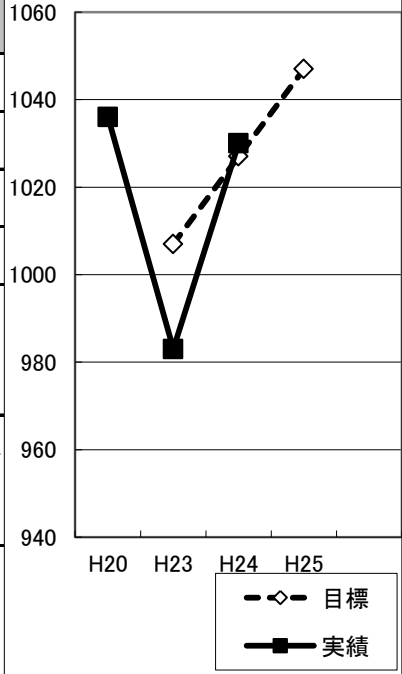
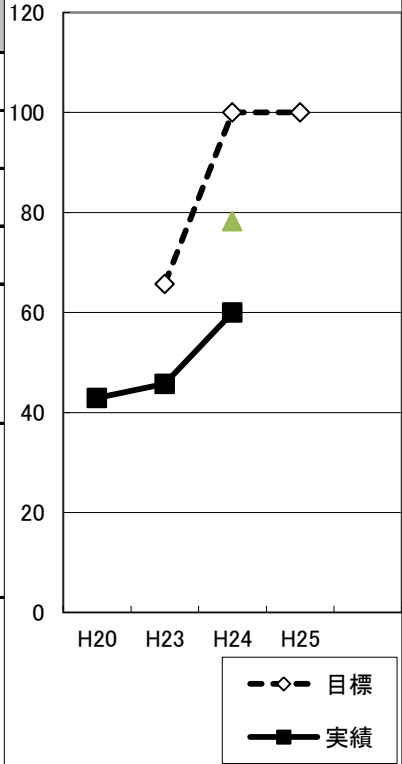
評価対象年度 平成24年度

政策 8 施策 23

目標指標等の状況

■達成率(%) フロー型:実績値/目標値 ストック型:(実績値-初期値)/(目標値-初期値)

2-2	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26
	総合型地域スポーツクラブの市町村における育成率(%) [ストック型]	指標測定年度	H20	H23	H24	H25	-
	目標値	-	65.7	100.0	100.0	-	
	実績値	42.9	45.7	60.0	-	-	
	達成率	-	12.3%	29.9%	-	-	
目標値の設定根拠	<p>・国のスポーツ振興基本計画においては、平成22年度までに全国の各市町村に少なくともひとつは総合型地域スポーツクラブを育成するとしている。同時に、将来的には中学校区程度の地域に定着させるとしている。これらを受け、宮城県スポーツ振興基本計画より、平成24年度までに県内全市町村に1か所以上の設置を目指すとしている。</p>						
実績値の分析	<p>・総合型地域スポーツクラブは、平成21年度末までに15市町で設置し、平成22年度は1町、平成24年度末には5市町で設置し、現在21市町(41クラブ)が活動を展開している。総合型地域スポーツクラブの設置・育成に関する支援は、みやぎ広域スポーツセンターにおいて行っており、平成22年度から公益財団法人宮城県体育協会に業務の一部を委託し、着実に成果を挙げてきている。</p>						
全国平均値や近隣他県等との比較	<p>・平成24年7月現在、全国における総合型地域スポーツクラブの市町村育成状況は、全国平均78.24%である。本県は35市町村中21市町村に留まり、その設置率は60.0%である。東北地区においては、秋田県の100%、山形県97.13%、岩手県の90.9%、福島県81.4%、と高位県が多い。しかし、他都道府県においては活動休止しているクラブもある中、本県においてはすべてのクラブが存続している。</p>						
3	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26
	みやぎ県民文化創造の祭典参加者数(うち出品者・出演者等の数)(千人) [フロー型]	指標測定年度	H20	H23	H24	H25	-
	目標値	-	1,007(33)	1,027(34)	1,047(35)	-	
	実績値	1,036(23)	983(12)	1,030(44)	-	-	
	達成率	-	97.6%	100.3%	-	-	
目標値の設定根拠	<p>・参加者数の目標値は、主催事業である小中学生のワークショップ等の体験率約2%を勘案して、毎年度約2%増加するものとして計算した。 ・出品者・出演者数の目標値は、参加者数の増加率に準じて設定した。</p>						
実績値の分析	<p>・震災の影響から、平成23年度においては、各種事業について中止・縮小を余儀なくされたが、平成24年度は概ね計画通り実施できたことにより、目標を達成できた。</p>						
全国平均値や近隣他県等との比較	-						



評価対象年度	平成24年度
--------	--------

政策	8	施策	23
----	---	----	----

宮城の将来ビジョン推進事業

評価番号	事業番号	事業名	平成24年度 決算見込額 (千円)	事業の状況							
		事業主体等	特記事項	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
1	1	図書館市町村連携事業	49,917	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
		図書館情報の迅速な提供を図るため、県立図書館と市町村図書館とのネットワークの充実を図る。				・宮城県図書館情報ネットワークシステムには、県内13市8町30館+1分館の計31館全てが加入している。県内公民館図書室は色麻町公民館、七ヶ宿町公民館、大衡村公民館、涌谷町公民館が新規加入し、未加入は大郷町中央公民館のみである。また、市町村図書館への協力貸出数は平成22年度が22,174冊に対して平成23年度は14,024冊と減っており、震災のため5月12日まで休館したことや被災した県内図書館が多かったことなどが影響している。					
		事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)					
生涯学習課		震災復興 6③①	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	成果があった	効率的	維持	51,906	51,040	49,917	-	
2	2	みやぎ県民大学推進事業	3,448	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
		震災からの復興に向け、地域において生涯学習活動を推進する人材の育成や、学校、社会教育施設、NPO等との連携・協力により講座を実施し、多様な学習機会を提供する。				・全講座数が46から55に増加したものの、県立学校において応募者がいないことから2講座を中止するなど、全受講者数は前年並みに留まった。一方、社会教育団体のメンバーによる積極的な受講が増えるなど、震災による学習需要の変化がより顕著となった。					
		事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)					
生涯学習課		震災復興 6③①	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	維持	3,380	2,465	3,448	-	
3	3	広域スポーツセンター事業	10,607	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
		被災者を含むすべての県民の健康増進と活力維持を図るため、地域や年齢・性別、障害の有無に関わらず、だれもがスポーツに親しめるよう、みやぎ広域スポーツセンター機能の充実を図り、県民が主体的にスポーツを楽しむことができるように「総合型地域スポーツクラブ」の設立及び育成を支援する。				・震災後、平成23年度に石巻市・登米市・栗原市に、平成24年度は川崎町・丸森町・名取市・富谷町・村田町の5市町においてクラブが新設する等、現在41クラブが活動しており、スポーツを通じた地域コミュニティの核として活動している。					
		事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)					
スポーツ健康課		震災復興 6③①	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	ある程度成果があった	効率的	維持	-	7,065	10,607	-	
4	4	スポーツ選手強化対策事業	133,715	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
		本県の競技力の向上を図るため、公益財団法人宮城県体育協会等を通じて競技スポーツ選手の強化を支援する。また、被災者の活力と希望を生み出し、県民の生涯スポーツへの参画を促進するため、スポーツにおける国際大会・全国大会等で活躍できる選手の育成を支援する。				・国民体育大会においては、総合成績10位台の維持を県スポーツ振興基本計画(平成15年度～24年度)において目標値としているが、平成24年度は25位であった。平成23年度に引き続き2年連続で10位台を逸しているが、東北の中では、山形県28位、秋田県36位、岩手県39位、青森県40位、福島県43位と最上位である。					
		事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)					
スポーツ健康課		震災復興 6③①	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	ある程度成果があった	効率的	維持	-	132,084	133,715	-	

5	6	みやぎの文化育成支援事業	6,791	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				県民が芸術文化を鑑賞する機会を提供するとともに、県内の文化活動への支援を行う。				・巡回小劇場(20回7,052人)、県芸術祭(30,921人)、巡回絵画・書道展(1回810人)、地方音楽会(4回2,333人)、河北美術展(28,540人)、高等学校総合文化祭等開催による参加機会提供(総計42,158人(補助対象事業11,381人含む)参加)。 ・国民文化祭参加支援(2団体29人)、文化庁事業活用による学校の鑑賞機会提供(45公演55校、派遣21校22事業、児童・生徒等23,510人参加)			
	生涯学習課	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)					
		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25		
		妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	維持	-	6,057	6,791	-		
6	7	美術館教育普及事業	4,577	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				県民の創作活動や研究、体験の場として、公開講座やワークショップなどの各種教育普及活動を実施する。				・「いつでも」「だれでも」自由に活用できるオープンアトリエとしての創作室の運営を基盤に、体験をとおして美術に親しめるワークショップや、美術に対する関心と理解を深めるための美術館講座、美術以外の芸術表現なども幅広く紹介する講演会を実施した。			
	生涯学習課	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)					
		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25		
		妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	維持	-	2,795	4,577	-		
7	8	図書館貴重資料保存修復事業	1,380	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				県図書館で所蔵している貴重資料の修復・保存を進め、その成果を公開するとともに、学校教育・生涯学習の場における教材としての活用を図る。				・平成24年度は『丸森村之内峠井筆甫村繪圖』1舗の修理を行った。貴重資料複製資料の貸出については、学校、図書館等に5件の貸出を行い、教材等に活用された。			
	生涯学習課	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)					
		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25		
		妥当	成果があった	効率的	維持	1,900	-	1,380	-		
8	9	瑞巖寺修理補助事業	20,000	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				国宝「瑞巖寺本堂」及び関連する建造物の修復工事を支援し、良好な状態での保存管理を行い、次代に引き継ぐ。 あわせて、地域の文化財を再認識するとともに、地域の資源としての活用を図り、地域の活性化に役立てる。				・瑞巖寺修理事業(平成20～29年度)計画により実施。 ・平成24年度は本堂の基礎工事などを実施。 ・本年度予定していた工事は概ね計画通りに進む。 ・平成23年度に行った解体調査の結果、屋根瓦や材の取替え増加等により、今後、総事業費が増額となる見込み。			
	文化財保護課	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)					
		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25		
		妥当	成果があった	概ね効率的	維持	17,775	9,416	20,000	-		
9	10	みやぎ県民文化創造の祭典(芸術銀河)開催事業	12,290	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				県民に対して、優れた芸術文化の鑑賞と発表の機会を広く提供するとともに、被災市町等の学校や公共施設、福祉施設等に重点的にアーティストを派遣し、子どもたちを中心に地域住民が身近に芸術文化に触れ合うことのできる少人数・体験型の事業を実施する。				・音楽アウトリーチ事業 68か所 4,700人参加 ・美術ワークショップ 13か所 599人参加 ・舞台ワークショップ 24か所 1,252人参加 ・芸術銀河美術展 403人参加 ・シンポジウム 160人参加 ・共催事業、協賛事業 1,022,757人参加 (H25年3月12日現在)			
	消費生活・文化課	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)					
		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25		
	取組5・9に再掲 震災復興6③②	概ね妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	維持	-	7,940	12,290	-		

10	11	慶長遣欧使節出帆400年記念事業	—	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				平成25年10月、慶長遣欧使節が石巻市月浦を出帆してから400年の節目を迎えることから、慶長遣欧使節の果たした歴史的な偉業を国内外に広く発信し未来へと引き継いでいくため、関係団体が連携して実行委員会を設立し、400年の記念事業を実施する。				平成24年12月25日付けで実行委員会を設立し、平成25年度以降の事業内容の検討・準備作業等を行った。			
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25				
消費生活・文化課	震災復興6③②	概ね妥当	ある程度成果があった	効率的	拡充	-	-	-	-		
決算(見込)額計		242,725									
決算(見込)額計(再掲分除き)		242,725									

評価対象年度	平成24年度
--------	--------

政策	8	施策	23
----	---	----	----

取組に関連する宮城県震災復興推進事業

評価番号	事業番号	事業名	平成24年度 決算見込額 (千円)	事業の状況							
		事業主体等	特記事項	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
1	1	無形民俗文化財 再生支援事業	530	事業概要 震災で活動母体のコミュニティが失われたり、用具が流出・損傷したりして、活動の継続が困難になった地域の祭礼行事や民俗芸能等の無形民俗文化財保持団体に対して、行事や芸能の再開を促すとともに、伝統文化の実施を通したコミュニティ再生の一助とするために、用具等の備品の整備を支援する。				平成24年度の実施状況・成果 ・榊流東根神楽保存会1団体に対し、倒壊した神楽舞台の再建事業に補助を実施し、保存団体の活動を支援した。			
		文化財保護課	震災復興 1①④	妥当	ある程度 成果が あった	概ね効率的	拡充	-	399	530	-
2	2	公立社会教育施設 災害復旧事業	128,126	事業概要 震災で甚大な被害を受けた県立社会教育施設を復旧するとともに、使用が困難になった市町村の公民館等の社会教育施設の再建、復旧に対して支援する。				平成24年度の実施状況・成果 ・津波被害による3施設を除く5施設の復旧が完了した。さらに、平成25年度完了予定の2施設については災害査定等の作業も順次進めている。			
		生涯学習課 文化財保護課	震災復興 6③①	妥当	成果が あった	効率的	維持	-	43,816	128,126	-
3	3	私立博物館等災害 復旧費補助事業	6,209	事業概要 被災した私立博物館等の復旧を図るため、被災事業者が実施する災害復旧事業に要する費用の一部を補助する。				平成24年度の実施状況・成果 ・平成23年度に終了できなかった施設を含めて、全対象施設の復旧が完了した。			
		生涯学習課	震災復興 6③①	妥当	成果が あった	効率的	廃止	-	7,846	6,209	-
4	4	公立社会体育施設 災害復旧事業	586,228	事業概要 震災により被害を受けた社会体育施設(総合運動公園、宮城野原公園総合運動場等)の復旧工事を行うとともに、使用が困難になった市町村の社会教育施設の再建、復旧に対して支援する。				平成24年度の実施状況・成果 ・被災した県立社会体育施設5施設の復旧は終了。 ・市町村の社会体育施設の復旧に対して引き続き支援した。			
		スポーツ健康課	震災復興 6③①	妥当	成果が あった	効率的	縮小	-	1,328,707	586,228	-

5	5	防災キャンプ推進事業	1,472	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
		学識経験者, 行政関係者, PTA関係者等からなる地域実行委員会が地域の実情に即したプログラム内容を検討した上で, 子どもと保護者及び地域住民を対象とした防災キャンプを実施するとともに, 県内でその事業成果の普及を図る。				・2か所の県立自然の家で避難生活体験型の防災キャンプを実施し, 計83人が参加した。参加者は制限された生活状況の中から, 耐えること, 工夫すること, 力を合わせることを体験的に学んだ。					
5	5	生涯学習課	取組33 再掲 震災復興 6③①	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	概ね効率的	維持	-	-	1,472	-
6	6	震災資料収集・公開事業	2,000	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
		東日本大震災を後世に伝えるため, 震災に関する図書・雑誌などを収集するとともに, 県図書館内にコーナーを設置し, 県民に公開する。 震災記録や被災した地域の地域資料をデジタル化して提供し, 地域情報の活用支援を行う。				・平成24年7月県図書館内に「被害日本大震災文庫」を設置し, 一般公開した。平成24年12月時点で, 図書1,138点, 雑誌678点, 新聞1,529部, 視聴覚資料21点, その他ちらしや写真等を収集した。平成25年度国庫補助事業である「被災地域記録デジタル化推進事業」を活用し, デジタル化及びWebで公開するためのシステム開発を進める。					
6	6	生涯学習課	取組33に再掲 震災復興 6③①	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	効率的	拡充	-	2,000	2,000	-
7	9	松島自然の家再建事業	352	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
		松島自然の家本館及び屋外施設を再建する。				・松島自然の家再建に懇話会の意見を参考に, 11月19日に教育庁内部決定をし, 11月議会常任委員会に移転再建とその候補地を報告した。					
7	9	生涯学習課	震災復興 6③①	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	概ね効率的	拡充	-	-	352	-
8	10	指定文化財等災害復旧支援事業	61,128	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
		震災により被害を受けた文化財の修理・修復を図るため, 修理・修復費用に対する補助を行う。				・被災文化財所有者等と修理・修復の調整を行い, 計51件の修理事業に対し補助を行った。 国指定12件 県指定11件 市指定38件(復興基金のみ)					
8	10	文化財保護課	震災復興 6③②	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	概ね効率的	維持	-	45,351	61,128	-
9	11	被災有形文化財等保存事業	5,549	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
		震災により破損した登録有形文化財(建造物・美術工芸品)を対象に, 修理事業等に対する補助を行う。				・国登録文化財(建造物)3件の修理事業の補助(復興基金)を行い, 修復を支援した。					
9	11	文化財保護課	震災復興 6③②	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	成果があった	概ね効率的	維持	-	1,500	5,549	-

10	12	復興事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査事業	1,750	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
		文化財保護課	震災復興 6③②	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
						妥当	成果があった	効率的	維持	-	300
11	13	特別名勝松島保護対策事業	197	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				特別名勝松島地域の復旧・復興事業を円滑に推進するため、特別名勝としての文化的価値と復興計画の両立を図るための検討・調整を行う。				震災復興に伴い増加する特別名勝松島の現状変更等の許可等の申請手続きの迅速化及び復興事業等との関わりで適切な保存管理を図るために、文化財保護審議会を3回開催し、必要な権限委譲の検討及び準備を行った。			
		文化財保護課	震災復興 6③②	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
						①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23
				妥当	成果があった	効率的	維持	-	847	197	-
12	14	被災文化財調査事業	54	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				震災により被災した文化財の実地調査を文化財保護審議会委員により実施し、その指導・助言のもと適切な修理・修復を図る。				県指定文化財木造阿彌如来坐像(安国寺)等4件の修理・修復に対し、助言指導を受け、適切な修理・修復を図ることとなった。			
		文化財保護課	震災復興 6③②	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
						①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23
				妥当	成果があった	概ね効率的	維持	-	-	54	-
13	15	多賀城跡環境整備災害復旧事業	12,229	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				震災により被災した特別史跡多賀城跡の施設等の原状回復を図り、遺跡の保護と来場者の安全を確保する。				特別史跡多賀所跡の政庁正殿アスファルト舗装修復工事や東門トイレ修復工事等が終了し、遺跡の保護が図られ、来場者の安全が確保された。			
		文化財保護課	震災復興 6③②	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
						①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23
				妥当	成果があった	概ね効率的	縮小	-	-	12,229	-
14	16	被災ミュージアム再興事業	436,613	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				震災により被災した博物館等のミュージアムの再興に向けて、資料の修復等の支援を行う。 あわせて、被災したミュージアムの代替えで活動するミュージアムに対して支援する。				石巻市文化センター仮収蔵庫施設整備事業、東北歴史博物館被災資料等修理事業等、22施設・機関の47事業を実施し、被災ミュージアムの再興を支援した。			
		文化財保護課	震災復興 6③②	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
						①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23
				妥当	成果があった	概ね効率的	維持	-	-	436,613	-
15	17	県民会館施設整備事業	239,040	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				本県の文化芸術活動の中核である宮城県民会館の修繕を早急に実施し、早期の施設再開を目指す。				平成24年6月16日に再開館。			
		消費生活・文化課	震災復興 6③②	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
						①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23
				妥当	成果があった	概ね効率的	廃止	-	204,084	239,040	-
決算(見込)額計			1,481,477								
決算(見込)額計(再掲分除き)			1,480,005								